

宇土市地域学校協働活動便り

「結」

No.6

R6.9.10

発行

宇土市教育委員会
生涯活動推進課
生涯学習係
文責:中村敬人
TEL0964-22-6510

未だ残暑厳しい日が続いていますが、朝夕は若干の涼しさを感じるようになりました。季節が秋に向かって動き始めていることに気付かされます。間もなくする田圃の畦道に赤、白、黄と色とりどりの彼岸花が咲き始めると思います。

夏休みが終わり、2学期の始まりに気を入れなおしたのも束の間、大型の台風10号の接近で市内の小中学校は2日間の休校となってしまいました。9月2日に仕切り直して2学期が始まりました。台風の影響がほとんどなかったことは幸いでした。

さて、夏休み期間中も子供たちはスポーツや地域行事への参画等で大忙しでした。そして、大活躍でした。

学校から地域へ発信の取組 ～花園小、宇土東小児童が造り物に挑戦～

前月号で紹介した「うと地蔵まつり」の造り物に挑戦した花園小学校、宇土東小学校の子供たちの力作には感心させられました。

宇土東小から2点、花園小から3点の出展がありました。ペットボトルや牛乳パック、廃材等を活用して作製されており、それぞれに金賞・銀賞・銅賞を受賞しました。作製の過程では、地蔵まつり実行委員の方を講師に招いて作り方の講習会を開催する等、熱心に取り組んでいました。



「敬老の日に団扇を贈ろう」の取組

先月号で紹介しました「敬老の日に団扇を贈ろう」の取組も2年目を迎え今年も宇土小学校に加え花園小学校の特別支援学級の子供たちにもお願いしてオリジナルの団扇を作製してもらいました。敬老の日に間に合うように市老人福祉センターの利用者の方へ届ける予定でいます。

その後、団扇を使われた利用者の方々からのお礼の返しがあるはずです。その返しのメッセージを今度は作製してくれた各小学校の子供たちに届けることになります。このサイクルを経て学校と市老人福祉センターの双方向の交流が完結することになります。

メッセージを目にした子供たちは、「作ってよかった。」、「こんなに喜んでもらえてとても嬉しかった。」等の満足感や達成感を抱くことができ、子供たちからメッセージ入りの団扇を手にした利用者の方はそのメッセージに涙を流される、そんな光景が浮かびます。

この取組も「学校から地域へ向かっての発信」を意識した取組の一つです。つまり、双方向からの交流となる取組なのです。

この季節、各地で秋祭りが開催されると思います。どうか、その折には地元の子供たちに将来の地域の担い手として活躍の場をご提供いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



地域学校協働活動は、学校と地域が連携・協働して双方向で取り組む活動です。